

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
①農業研究部 (計20件)						
0086	農業研究部	【冬ニラのハウス内環境制御試験が大詰めです！】 (2018. 3. 8発信) 冬期(1~2月)に生育が停滞気味となるニラの生育改善を図るため、湿度管理や炭酸ガス施用などの環境制御試験を実施しています。また、ハウスを開閉する際の目安となるよう効果的な換気方法も調査しています。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2018/3/30
0083	農業研究部	【大麦焼酎粕濃縮液を肥料活用！ナバナ栽培で実証試験】(2018. 2. 27発信) 収穫期を迎えたナバナ(2月14日)の様子です。昨年の12月に行った生育調査では、大麦焼酎粕濃縮液を施用した区と慣行の肥料区は同等の生育量となっており、十分な収量が期待できます。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2018/3/30
0061	農業研究部	【「ベリーツ」の生育は良好です】 (2017. 12. 19発信) 11月下旬から週に3日、「ベリーツ」の収穫調査をしています。現在は、頂果房を収穫しており、1玉2Lサイズ(20~30g)の大きさが中心と順調に生育しています。今後も調査を継続し、「ベリーツ」の品質向上に繋げていきます。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2018/1/19
0060	農業研究部	【県オリジナルイチゴ品種が、愛称「ベリーツ」でデビュー！】(2017. 12. 19発信) 本県オリジナル品種「大分6号」が、「ベリーツ」として12月6日にデビューしました。甘みが強く、色づきがよい特徴があります。本県を代表するブランドになるよう技術支援していきます。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2018/1/19
0057	農業研究部	【安全に製茶工場の清掃作業をしています！】 (2017. 12. 7発信) 製茶工場の高所ゴミ落としを安全かつ効率的に行うため、専用のエアダスターを製作しました。容易に製作でき、汎用性も高いので様々な場面で利用が可能です。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2017/12/31
0053	農業研究部	【農地の温室効果ガス蓄積状態を確認】 (2017. 12. 6発信) 地球温暖化防止効果や土壌の肥沃度を把握するため、農地や草地に蓄積されている炭素や窒素の量を調査しています。今年度は、水田20地点、畑20地点、草地5地点を分析します。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/12/31
0052	農業研究部	【大麦焼酎粕濃縮液を肥料に活用！なばな栽培で実証試験】(2017. 12. 6発信) 定植から1ヶ月(11/16)の様子です。今年は例年より雨が多く定植時期が遅れましたが、定植後は順調に生育し、焼酎粕施用区と慣行肥料区は同程度の生育となっています。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/12/27
0049	農業研究部	【イチゴ県オリジナル品種「ベリーツ(大分6号)」収穫開始しました】(2017. 12. 1発信) 本県オリジナル品種「ベリーツ(大分6号)」の収穫調査を11月27日から本格的に開始しました。頂果1玉26g程度で糖度は11度(炭酸ガス施用あり)で、大玉で食味も良好です。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2017/12/28
0044	農業研究部	【製鋼スラグを利用した野菜栽培の多面的効果キャベツの生育は良好】(2017. 11. 17発信) 製鋼スラグを投入したほ場で栽培された野菜に含まれる成分(Caなど)の変化を調査する試験を実施中です。9月にキャベツを定植しており、現在の生育は良好です。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/12/17
0031	農業研究部	【イチゴ県オリジナル品種「大分6号」定植後の生育順調！】(2017. 10. 23発信) 本県イチゴオリジナル品種「大分6号」は9月19日に定植作業を終了し、順調に生育しています。10月16日頃、4割の株で出蕾が確認されており、11月中旬から収穫開始となります。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2017/11/15

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結

(合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0030	農業研究部	【農業が地球温暖化を抑える効果を測定していますー基準点ー】(2017. 10. 17発信) 土壌が二酸化炭素を貯留して、地球温暖化を抑える効果を測定するため、全国の「基準点」で調査が行われています。当センターにある基準点の「畑」に白菜を定植しました。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/12/17
0027	農業研究部	【根深ネギ現地試験圃の収穫が始まりました】(2017. 10. 10発信) 夏秋期の根深ネギを安定的に生産する技術として、新たな技術で育てた大苗を使った試験を行っています。県内4ヶ所の現地試験圃の内、高原部での収穫が9月11日から始まりました。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2017/12/10
0026	農業研究部	【稲こうじ病の防除に関する調査】(2017. 10. 10発信) 稲こうじ病は、精米時に病粒が混じると全体が黄色くなり米の価値が下がる、経済的被害の大きな病害です。9月27日に竹田市で調査を行い、効果的な農業を調査中です。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2017/12/10
0025	農業研究部	【ドローンによる農薬散布の調査を実施します】(2017. 10. 10発信) 農業研究部では9月25日に豊後大野市内で大豆を対象にドローンの試験を実施しました。ドローンの薬液付着状況、害虫防除効果を調べ普及に向けたデータを作成します。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2017/12/10
0024	農業研究部	【イネいもち病菌のレース(犯す遺伝子のタイプ)検定を実施予定】(2017. 10. 10発信) いもち病対策として抵抗性を持ったイネが育種されていますが、県内でこれまで抵抗性だった品種にいもち病が見られたため、どのレースなのかを検定する予定です。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2017/12/10
0009	農業研究部	【業務加工用キャベツ、試験品種の播種を開始】(2017. 8. 30発信) 加工用キャベツが品薄となる4月どりの品種として、昨年の試験結果から絞り込み、「晩抽冬982」など数種を暫定的に好適品種としました。今年度更なる検討をするために播種を開始しました。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2017/10/10
0008	農業研究部	【ドローン農薬散布調査を実施します】(2017. 8. 30発信) 農業研究部では9月1日に豊後大野市内で水稲と大豆を対象にドローンの試験を実施します。ドローンと無人ヘリの薬剤付着状況の違いや病害虫防除効果を調査します。		農業研究部 病害虫対策チーム	0974-28-2078	2017/9/1
0007	農業研究部	【大分県産夏秋野菜の栄養・機能性成分を毎月調査しています】(2017. 8. 30発信) 夏秋ピーマンと夏秋トマトの栄養・機能性成分(ビタミンCやリコペンなど)を毎月調査し評価することで、消費者の健康志向に応える商品づくりにつなげていきます。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/10/10
0006	農業研究部	【大麦焼酎粕濃縮液を肥料に活用！小ネギ栽培で実証試験】(2017. 8. 30発信) 播種から20日経過した8月16日の小ネギの様子です。発芽もしっかりと揃い、既存肥料並の順調な生育をしています。地域循環資源としての利用が期待されます。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/10/10
0005	農業研究部	【製鋼スラグを利用した病害抑制現地試験 白ねぎの生育は良好】(2017. 8. 30発信) 九重町の現地試験ではスラグ投入区の生育が良好です(右上図)。一方で対照区では、曲症状などの生育不良が発生しています(右下図)。8月末に第1回病害発生状況調査を行います。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2017/10/10

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
②水田農業グループ (計12件)						
0090	水田農業グループ	【県産オリジナルの焼酎用大麦「トヨノホシ」が品種登録されました】(2018. 3. 12発信) H17年度から県酒造組合と共同研究に取り組み、H26末に農水省に申請しました大麦新品種「トヨノホシ」が2月9日に品種登録されました。本品種のH29年産麦を原料とした焼酎がまもなく販売される予定です。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2018/4/27
0087	水田農業グループ	【麦類の生育調査を行っています！】(2018. 3. 8発信) 麦の各種試験において、生育状況を調査しています。本年は、冬期の低温により生育が遅れています。現在の生育状況は、水田農業GのHPで作柄判定試験として定期的に公表していますので、参考して下さい。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2018/4/27
0067	水田農業グループ	【水稻種子の発芽率を検査しています！】(2018. 1. 19発信) 30年度栽培用の種子を生産するため、県内7か所に採種圃場を設置しています。そこで生産された種子は、当グループで発芽率の検査を行い、90%以上発芽する種子を合格とし、県内の水稻栽培農家に供給されます。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2018/4/15
0055	水田農業グループ	【米の美味しさを分析】 (2017. 12. 7発信) 人による食味の官能評価も実施しますが、分析機器を用いて品種、栽培方法などの試験区ごとに味度やタンパク質含有率などを測定し、米の美味しさ分析を行っています。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2018/1/31
0054	水田農業グループ	【大豆の子実調査を行っています！】(2017. 12. 7発信) 収穫した大豆は、乾燥後に手作業で分解し、収量と品質をこまかく調査します。栽培方法などの試験区ごとのサンプルを他区と混ざらないように分け、それぞれの収量と品質を調査していきます。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2018/1/15
0043	水田農業グループ	【麦の播種が始まりました！】(2017. 11. 17発信) 11月17日から麦類の品種選定、栽培方法などの試験圃の播種が始まります。醤油やパン、焼酎用の麦を選定する試験では、小さく区切った試験区に播種量や施肥量にばらつきが出ないよう種子や肥料を丁寧に手播きします。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/12/15
0037	水田農業グループ	【米の食味検査を職員で実施して、味の良い悪しをチェックします】 (2017. 11. 1発信) 11月15日～12月18日の間、品種を選定する上で重要な食味官能試験を実施します。多くの品種を研究員が実際に食べて、外観、香り、味、ねばり、硬さ、総合の6点で評価します。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/12/18
0032	水田農業グループ	【水稻の収穫・調査真っ只中】(2017. 10. 23発信) 10月中旬以降水稻の収穫ピークとなり、収穫に伴う乾燥・調製作業や収量・品質調査が盛んに行われています。今年は、雨天続きで大変です。 (写真上：坪刈り、写真下：掛け干し写真)		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/11/30
0023	水田農業グループ	【水稻の作況判定調査を実施中】(2017. 9. 26発信) 県内で栽培されている水稻の生育情報を提供するために作況調査を行っています。主要品種を植えることにより、県内の広い地域の管理指導に活用しています。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/10/13
0022	水田農業グループ	【水稻の品種選定試験を実施中】(2017. 9. 26発信) 県内での栽培に適する水稻品種の選定試験を行っています。主食用米の他、飼料用米、稲WCS、酒造好適米、業務用米、糯米など様々な用途・ニーズに応じた品種の比較試験を実施しています。		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/10/13

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 **完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0017	水田農業グループ	<p>【外来雑草対策の現地試験を実施中】 (2017. 9. 7発信)</p> <p>近年、大分県を含む全国の大豆畑で海外から侵入してきた雑草がまん延し深刻な問題となっています。カラライナツユクサ、アサガオ類など外来雑草の草種ごとに機械除草と薬剤防除の組合せを検討しています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/10/31
0011	水田農業グループ	<p>【外来雑草対策の現地試験を実施中】 (2017. 9. 7発信)</p> <p>近年、大分県を含む全国の大豆畑で海外から侵入してきた雑草がまん延し深刻な問題となっています。カラライナツユクサ、アサガオ類など外来雑草の草種ごとに機械除草と薬剤防除の組合せを検討しています。</p>		水田農業グループ 企画指導担当	0978-37-1160	2017/12/28

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
③果樹グループ (計10件)						
0091	果樹グループ	【落葉果樹根域制限栽培の植え付け】 (2018. 3. 13発信) 水と肥料を完全にコントロールし品質を高める果樹の根域制限栽培の試験を開始しました。この技術は、水田を果樹園として活用するための対策の一つとして平成30年度から取り組みます。		果樹グループ ナシ・ブドウチーム	0978-37-0149	2018/4/13
0089	果樹グループ	【セミノール「(商品名)サンクイーン」貯蔵試験を開始】(2018. 3. 9発信) 労力分散を目的に、通常4月に収穫する「サンクイーン」を3月上旬に収穫し、4月以降に出荷する短期貯蔵試験を行っています。果実を5月まで貯蔵し、定期的に品質を調査します。		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2018/4/10
0072	果樹グループ	【良食味のカンキツ新品種「あすみ」の収穫調査を開始】(2018. 2. 1発信) 「あすみ」は、2月上旬に成熟期を迎える中生品種で、糖度が極めて高いのが特徴です。果樹グループでは施設栽培での高品質安定技術開発の試験を行っています。		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2018/2/28
0069	果樹グループ	【ハウスミカンにおけるスワルバンカー(天敵製剤)の現地試験を開始】(2018. 1. 23発信) 化学農薬使用の低減が可能となる、天敵(スワルスキーカブリダニ(右写真))を活用したミカンハダニ密度抑制効果について現地試験を開始しました。実用効果を検証します。		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2018/2/28
0056	果樹グループ	【2018年産ハウスミカンの栽培試験開始】 (2017. 12. 7発信) 高収量、省エネルギー、省力化となる新しい栽培技術の確立を研究しています。11月下旬に暖房を開始し、現在つぼみが確認できます。満開は12月20日頃、収穫は6月下旬を予定しています。		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2017/12/28
0048	果樹グループ	【大分県産の越冬完熟デコボン「デコ330」品質・収量向上試験を開始】(2017. 12. 1発信) 3月の収穫まで樹に成らせる「デコ330」の水腐れ発生防止のため、果実が雨に濡れないよう樹全体をビニールで被覆しました(右写真)。今後、品質・収量量などの調査を行います。		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2017/12/28
0036	果樹グループ	【水田転換果樹園の土壌調査を開始】 (2017. 10. 26発信) 水田から果樹園へ転換した圃場の土壌調査を開始しました。これにより転換後の土壌環境が明らかとなるのが期待されます。今後、随時ナシ、ブドウ、キウイなどで調査を予定しています。		果樹グループ ナシ・ブドウチーム	0978-37-0149	2017/11/30
0020	果樹グループ	【大型CA(空気調整)貯蔵庫を活用したカボス貯蔵試験を開始】(2017. 9. 22発信) カボスの長期出荷実現のため、農業団体が所有する大型CA貯蔵庫の活用試験に取り組んでおり、試験果実の入庫を9/15に終了しました。今後定期的に品質調査を実施します。		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2017/10/10
0018	果樹グループ	【極早生「おおいた早生」の収穫調査を9月下旬に開始予定】(2017. 9. 7発信) 温暖化による温州ミカン日焼け果の発生防止のため、遮光ネット(右写真)、摘果、炭酸カルシウム資材等の試験を行っており、9月25日から収穫し調査をします。		果樹グループ 温州ミカンチーム	0978-72-0407	2017/9/25
0001	果樹グループ	【果樹グループ生態調査樹(温州ミカン、カボス)の果実品質調査開始】(2017. 8. 16発信) カボスは7月10日から、温州ミカンは8月1日から果実品質調査を開始しました。分析結果は、果樹グループのHPに随時掲載していく予定です。		果樹グループ 企画指導担当 又は 温州ミカンチーム、 カボス・中晩柑チーム	0978-72-0407 0972-82-2837	2017/8/31

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 **完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
④花きグループ (計5件)						
0068	花きグループ	<p>【オリジナルスイートピーの開花調査開始】 (2018. 1. 19発信)</p> <p>当グループでは新たな花色のスイートピーの作出を目的に育種を行っています。濃いピンクやオレンジ、かすり状の花など約30系統が3月まで甘い香りとともに咲き誇ります。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2018/3/30
0040	花きグループ	<p>【トルコギキョウ栽培研修会の開催迫る】 (2017. 11. 2発信)</p> <p>当グループでは生産者が地域や作型に適した品種を選定するため、毎年トルコギキョウの新品種比較試験圃場で研修会を開催しており、県内の生産者が来場されます。今年は11月13日13:30から開催します。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2017/11/13
0029	花きグループ	<p>【ヤマジノギクの新規有望系統現地調査】 (2017. 10. 16発信)</p> <p>本県オリジナル品目「ヤマジノギク」について、今年度新規に現地導入した有望系統の現地調査を行いました。生育は順調で計画どおりの出荷となりそうです。参照URL http://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/1053853.pdf</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2017/10/31
0013	花きグループ	<p>【輪ギクの選抜系統の現地調査を行いました】 (2017. 9. 5発信)</p> <p>当グループで選抜した暑さで発生する奇形花が少ない選抜系統を栽培している佐伯市市蒲江の生産者は「奇形花の発生がほとんどないので品質が向上し、選別の労働時間が減少した」と高い評価をいただきました。</p>		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2017/9/22
0012	花きグループ	<p>【輪ギクに対する夏場の効果的な環境制御方法が明らかになる】(2017. 9. 5発信)</p> <p>超微粒ミストの散水と遮光を組み合わせた夏場の輪ギクの品質向上効果について、9月11日から開花調査を行います。生育は順調でよい成果が得られそうです。</p>		花きグループ 花きチーム	0977-66-4706	2017/9/22

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑤畜産研究部 (計13件)						
0081	畜産研究部	【鳥インフルエンザ対策真っ最中！】 (2018. 2. 22発信) 畜産研究部豚・鶏チームでは、鳥インフルエンザの発生リスクが最も高い期間（11月～4月）の間、鶏舎周辺や場内の通路に消石灰を散布し、発生防止のための防疫対策を行っています。		畜産研究部 豚・鶏チーム	0974-22-0673	2018/4/27
0092	畜産研究部	【畜産研究部久住試験地の野焼きを実施！】 (2018. 3. 19発信) 害虫駆除、若芽の成長促進及び環境保全のため畜産研究部場内の野焼き（春先に冬の間にたまった枯れ草等を焼くこと）を3月12日～15日に実施しました。今年度は、晴天が続いたので順調に実施できました。		畜産研究部 飼料・環境チーム	0974-76-1248	2018/3/30
0080	畜産研究部	【大分県肉用牛改良研修会に120名参加！】 (2018. 2. 22発信) 生産者・研究員を対象に別府で研修会が行われ、㈱日本コンピューターコンサルタント後藤博光氏から「ビッグデータでもっとラクに、確実に!」と(公社)全国和牛登録協会穴田勝人専務から「宮城全共の総括そして鹿児島全共に向けて」の講演がありました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1216	2018/3/30
0076	畜産研究部	【豚凍結精液の利用拡大に取り組んでいます！】 (2018. 2. 8発信) 豚・鶏チームでは夏場の受胎率改善や母豚の急な発情への対応を目的として、豚凍結精液の普及拡大に取り組んでいます。今回は熊本県立熊本農業高校へ凍結精液を販売し、メリットや使い方について畜産科の生徒約20名へ指導を行いました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1216	2018/3/30
0075	畜産研究部	【豚凍結精液の受託製造拡大中！】 (2018. 2. 8発信) 豚・鶏チームでは、優秀な能力を持つ雄豚や海外由来の貴重な遺伝資源となる雄豚の液状精液を輸送してもらい凍結精液を製造する「受託製造」を国内で唯一実施しています。今年度は民間種豚場2件、都道府県1件、県内農家1戸での受託製造を実施し凍結精液を配布しており、少しずつ取組拡大中です。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1216	2018/3/30
0074	畜産研究部	【第2回「つくみイルカ研究シンポジウム」開催】 (2018. 2. 7発信) 1/16津久見市民会館で第2回「つくみイルカ研究シンポジウム」が開催され、畜産研究部は各園館やイルカの繁殖研究をしている獣医師とのディスカッションや、牛と豚の人工授精技術を紹介したのち、イルカへの応用について意見交換を行いました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1216	2018/3/16
0051	畜産研究部	【平成29年度畜産業績発表会において畜産研究部の後藤雅昭研究員が優秀賞受賞！】 (2017. 12. 5発信) 11月17日(金)に県庁正庁ホールにて開催された畜産業績発表会第3部(普及・研究)において畜産研究部豚・鶏チームの後藤雅昭研究員が「生産者の所得向上を目指した「スーパー母豚」自家育成農場作出システムの構築」と題した発表を行い、優秀賞を受賞しました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2017/12/28
0047	畜産研究部	【佐伯市でのレンタカウ試験放牧を終了】 (2017. 11. 30発信) 佐伯市の希望者に貸し出していたレンタカウ（黒毛和牛成雌牛）2頭の放牧実証が11月22日に終了し、畜産研究部へ帰ってきました。2頭の牛は元気で、舌草刈り（牛による除草）もできました。		畜産研究部 飼料・環境チーム	0974-76-1248	2017/12/15
0041	畜産研究部	【家畜人工授精講習会（牛）を実施しています】 (2017. 11. 9発信) 県が主催する標記講習会を11月6日～12月6日にかけて畜産研究部で実施しています。今年度は16名（農大生、畜産研修生、農協職員、自営、企業職員等）の受講生が家畜人工授精師の免許取得を目指しています。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2017/12/6
0039	畜産研究部	【百合光星の登録点数89.8点（県内歴代1位）】 (2017. 11. 2発信) 第11回全国和牛能力共進会第1区若雄の部において、当畜産研究部が出品した「百合光星」が全国第2位を獲得しました。また、10/25に登録審査を受け、県内歴代1位となる89.8点を頂きました。これまでの最高点数は第10回全国和牛能力共進会第1区若雄の部で1位になった「光星」の88.8点でしたが今回、息牛の「百合光星」が体型（表現型）の良さで親を超えました。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2017/11/30

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 **完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0038	畜産研究部	<p>【ただいま 3 番草収穫中！】(2017. 11. 2発信)</p> <p>牧草は、1つの畑から年に2~3回収穫します。1番草は5月上旬から、2番草は6月中旬から収穫をし、現在3番草の収穫をしています。今年には長雨のため、作業がやや遅れていますが11月中旬には全ての刈取りを終える予定です。</p>		畜産研究部 飼料・環境チーム	0974-76-1248	2017/11/15
0028	畜産研究部	<p>【佐伯市でレンタカウの試験放牧を開始！】(2017. 10. 12発信)</p> <p>耕作放棄地の解消及び飼養管理の省力化を目的に、佐伯市の希望者に対しレンタカウ(黒毛和牛成雌牛)2頭を貸出し、10月4日に入牧しました。約80aの耕作放棄地で2ヶ月程度放牧する予定です。</p>		畜産研究部 飼料・環境チーム	0974-76-1248	2017/10/31
0003	畜産研究部	<p>【全国和牛能力共進会宮城大会に向けた百合光星の壮行会！】(2017. 8. 24発信)</p> <p>当畜産研究部で選抜された「百合光星」が平成29年9月7日~11日に宮城県仙台市で開催される全国和牛能力共進会第1区若雄に出品されます。このため、8月30日(水)15:00から当部で壮行会を開催します。</p>		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2017/9/15

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑥林業研究部 (計14件)						
0093	林業研究部	【木材や木製品の強度等を調べる依頼試験に対応しています】(2018. 3. 20発信) 建築用材や家具等の木製品についてJAS、JISにて定められた仕様に基づき実大強度試験機、家具強度試験機等を用いて企業からの依頼試験に有料で対応しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/4/20
0085	林業研究部	【森林整備講習会に講師を派遣しました】(2018. 3. 7発信) 2月20日、日田市森林組合主催の森林整備講習会に講師を派遣し、九州北部豪雨災害を再検証し、災害に強い森林づくりについて提案を行いました。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/3/20
0084	林業研究部	【おおいた林業アカデミーの研修生に製材作業を講習しました】(2018. 3. 7発信) 2月15日、当研究部の製材機(送材車付帯ノコ盤)を用いて、原木からの製材作業を、おおいた林業アカデミー(主催:(公財)森林ネットおおいた)の研修生に対して講習しました。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/3/20
0077	林業研究部	【日田の木と暮らしのフェア(2/4)にて木育活動を実施しました】(2018. 2. 20発信) 標記イベントに出展し、主に子ども達に向けて、木材の可能性を感じてもらうための木製遊具による体験イベント「木の棒で橋を作ってみよう!」を実施いたしました。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/3/6
0078	林業研究部	【ヒノキやクロマツ等の種子の発芽能力を調べています】(2018. 2. 20発信) ヒノキやクロマツ等の種子の発芽能力を調べ、苗木生産に必要な播種密度や播種量などの情報を苗木生産者に提供し、計画的な苗木生産を支援しています。本事業は県森林整備室の委託を受けて実施しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/3/6
0073	林業研究部	【早生樹資源の活用可能性を確認する植栽試験を実施しています】(2018. 2. 6発信) 次世代の森林づくりの有力候補の一つと目される国産早生樹資源について、県内森林所有者等と共同で、候補樹種の成長量等を確認するための植栽試験を行っています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/2/20
0070	林業研究部	【次世代の森林づくりに向けヒノキ優良品種選抜に取り組んでいます】(2018. 01. 23発信) 多くの人工林が利用期を迎えており、伐採後の再造林に向けて、特性が優れたヒノキの優良品種を選抜しています。ヒノキ精英樹の次代検定林等で成長特性等を調査しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/2/6
0064	林業研究部	【木質バイオマス燃焼灰の有効利用の取り組みを支援しています】(2018. 1. 10発信) 処分方法が問題となっている木質バイオマス燃焼灰の有効活用に取り組む「木質バイオマス燃焼灰有効利用協議会」に参画し、燃焼灰の施肥使用における効果等を調査しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/1/23
0059	林業研究部	【マツノザイセンチュウに強い抵抗性クロマツの種子を生産しています】(2017. 12. 18発信) 松枯れ被害の拡大を防ぐため、西日本各地から選抜したマツノザイセンチュウに強い「抵抗性クロマツ」の採種園を造成し、その普及及び研究目的で種子の生産を行っています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2018/1/9
0046	林業研究部	【SSH指定校/大分県立日田高等学校の研究活動を支援しています】(2017. 11. 30発信) 伝統的な土壁の良さを見直し、その特性を把握するための日田高校の取り組みに対し、材料混合比を変えた試験体の圧縮試験を万能材料試験機を使って支援しています。		林業研究部 企画指導担当	0973-23-2146	2017/12/14

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日**完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
0045	林業研究部	【スギ花粉発生源地域推定事業を実施しています】 (2017. 11. 30発信) スギ花粉発生源対策を効果的に推進していくため、(一社)全国林業改良普及協会の委託により、県内のスギ雄花着生を毎年度調査しています。ドローンによる調査方法も試行中です。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2017/12/14
0035	林業研究部	【SSH指定校／大分県立日田高等学校の事業所訪問に対応しました】(2017. 10. 25発信) 日田の林業に関する探求活動のために、県の林業行政と研究部の役割、森林の役割、強度試験の現場説明、コンテナ苗植栽実演について施設見学による指導を行いました。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2017/11/9
0034	林業研究部	【大分県農林水産祭にて木育イベントを実施しました】(2017. 10. 25発信) 一般向け普及イベントに出展し、木材の強度測定にも利用されている木の性質（固有振動）について、木琴工作指導を中心に、各種サンプルによる体験展示を行いました。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2017/11/9
0016	林業研究部	【早生樹研究の取り組みに対して全国からの視察が増加しています。】(2017. 9. 6発信) 短伐期収穫が可能となる新たな植栽樹種を検討する早生樹研究の取り組みについての視察が増加しています。全国各地の林業団体、行政など8機関の視察に対応しました。		林業研究部 企画指導担当	0973- 23-2146	2017/9/23

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 **完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
きのこグループ (計4件)						
0071	きのこグループ	<p>【研究発表会を開催します】(2018. 1. 31発信)</p> <p>きのこグループの研究成果を生産者や関係者に周知するため、2/9(金)に研究発表会を開催します。今年度は地球温暖化がシイタケ栽培に及ぼす影響やその対策などに関する発表を予定しています。詳細はきのこグループのHPをご覧ください。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2018/2/10
0066	きのこグループ	<p>【乾シイタケ低温性品種の室内調査を実施中】(2018. 1. 17発信)</p> <p>温度を制御した人工気象室において、ほだ木に対する散水量を変えて管理した場合の芽切りや発生に及ぼす影響を調査しています。野外でのシイタケ発生時期のコントロールや発生量を増加させるための基礎データを蓄積を図っています。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2018/2/2
0050	きのこグループ	<p>【乾シイタケ低温性品種の発生調査を開始】(2017. 12. 4発信)</p> <p>低温性品種の単収向上に向けた試験を実施しています。気温や降雨の状況を予測し、12月～1月に散水やほだ倒し等によって、発生量の増加を目指します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2018/1/31
0004	きのこグループ	<p>【原木しいたけ栽培新規参入研修会を開催】(2017. 8. 25発信)</p> <p>9月3日(日)、当グループにてシイタケ原木栽培技術の習得を目的とした1回目の研修会を開催します。新たな担い手の育成に試験研究機関としても貢献します。</p>		きのこグループ 企画指導担当	0974-22-4236	2017/9/5

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 完結 (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑧水産研究部 (計8件)						
0088	水産研究部	【流れ藻定線調査はじまる!!】(2018.3.9発信) 3月23日から流れ藻定線調査を実施。本県調査船「豊洋」で流れ藻を採取、流れ藻につくブリ稚魚(モジャコ)を調べることでも遊量の推定や漁期決定などに役立っています。		水産研究部 栽培資源チーム	0972-32-2155	2018/4/25
0079	水産研究部	【輸出用ブリ種苗生産 早期採卵に成功!】(2018.2.20発信) 本県では通常4月に行うブリの採卵を、親魚の加温・日長制御によって2月7日に成功(受精卵70万粒)。輸出用養殖ブリの種苗として4月末に生産者に配布を目指して種苗生産に取り組んでいます。		水産研究部 栽培資源チーム	0972-32-2155	2018/2/28
0065	水産研究部	【赤潮監視強化～自動昇降観測装置による水質測定を実施～】(2018.1.10発信) 猪串湾(佐伯市)に自動昇降観測装置を設置し、水深1mごとに赤潮発生に関する諸条件(クロロフィル・溶存酸素量)等を4分おきに測定しています。結果はスマホ等でリアルタイムに確認できます。		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2018/1/31
0063	水産研究部	【赤潮対策～酸素供給によるアワビ生残向上試験を実施～】(2018.1.10発信) クロアワビにおいて、赤潮(カレンニア・ミキモトイ)発生時に、高濃度の酸素を供給することで生残率が向上する可能性があるという結果が得られています。		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2018/1/31
0058	水産研究部	【コスト減に向けて～緑色LEDによるヒラメ養殖試験をしています～】(2017.12.15発信) ヒラメ養殖現場で緑色LEDを照射した飼育試験を行っています。2ヶ月半後に自然光飼育のもの比べて体重で1.24倍の差がありました。養殖期間短縮によるコスト減を目指します。		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2018/1/15
0021	水産研究部	【人工種苗ブリ 現地養殖試験へ】(2017.9.19発信) 当部が種苗生産したブリの稚魚(日齢13312,724尾、サイズ140mm、22g)を佐伯市蒲江のブリ養殖生産者に初めて出荷(9月28日)。生産現場で養殖試験を実施、成長や輸出用のブリとしての品質を検証します。		水産研究部 栽培資源チーム	0972-32-2155	2017/9/28
0019	水産研究部	【佐伯市立東雲中3年生インターンシップ】(2017.9.11発信) 9月14～15日にかけて、東雲中3年生2名が水産研究部で行う作業や研究の研修を受けます。将来、海に関する職業に就いてもらえればと期待しています。		水産研究部 企画指導担当	0972-32-2155	2017/9/15
0010	水産研究部 浅海・内水面グループ	【クルマエビ資源の減少要因解明に向け、現在調査中】(2017.9.4発信) (国研)水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所と瀬戸内海沿岸5県(8カ所)で、資源回復の糸口をつかむための基礎調査を行っています。本県では真玉海岸、糸ヶ浜海岸、番匠川河口の3カ所で調査中。今月の調査は9/18～21です。		水産研究部 栽培資源チーム 浅海・内水面グループ 浅海チーム	0972-32-2155 0978-22-2405	2017/9/21

農林水産研究タイムリー情報

2018年4月27日 **完結** (合計93件)



整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑨浅海・内水面グループ (計7件)						
0082	浅海・内水面グループ	【4月からの種苗生産に向け、親ナマコの受け入れ開始！】(2018. 2. 26発信) ナマコの産卵時期が間近になったので、種苗生産に用いる親ナマコを集め始めました。親ナマコは、屋内水槽に収容して十分餌を与え、良質な卵が採れるよう養成しています。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2018/3/30
0062	浅海・内水面グループ	【豊前海でノリの摘み取り作業が本格化！～新海苔の販売開始～】(2018. 1. 10発信) 豊前海で養殖ノリの摘採が始まりました。今期は少雨のため栄養塩が少なく、ノリの生長が心配されましたが、大きな病気の発生もなく、美味しい海苔に育っています。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2018/2/28
0042	浅海・内水面グループ	【マコガレイの標識放流を実施します！】(2017. 11. 9発信) 伊予灘・周防灘を囲む大分・愛媛・福岡・山口の4県でマコガレイ幼魚の季節移動を明らかにするため、11月下旬に各県地先で一斉に標識放流を行い、その後の移動経路を追跡していきます。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2017/11/30
0033	浅海・内水面グループ	【ノリ養殖シーズン到来～豊前海で種付けが始まりました】(2017. 10. 23発信) 豊前海を代表するノリ養殖の採苗が中津と宇佐地区で開始されました。当チームでは、気象・海況・養殖技術・病害発生状況等について情報提供や技術指導を行っていきます。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2017/11/30
0015	浅海・内水面グループ	【貝類の外敵 ナルトビエイの標識放流を実施します】(2017. 9. 6発信) 本県アサリ資源の減少原因の一つであるナルトビエイの効果的な駆除方法の確立に向け、9月に別府湾において標識放流を行い、季節的な移動経路や生息場所を解明していきます。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2017/9/30
0014	浅海・内水面グループ	【豊前海アサリの資源動向モニタリングを実施します】(2017. 9. 6発信) 回復が望まれる豊前海のアサリ資源について、本年秋季の現存量を把握するため、中津市～豊後高田市の10地区の干潟において、10月の大潮干潮時に坪刈りによる調査を行います。		浅海・内水面グループ 浅海チーム	0978-22-2405	2017/10/31
0002	浅海・内水面グループ	【「かぼすヤマメ」試食会の開催！】(2017. 8. 17発信) 9月1日、日田市前津江町の(有)やまめの郷で、県特産カボスを餌に混ぜ育てた「かぼすヤマメ」の試食会を開催し、飲食業関係者等を招いて、商品化を目指します。		浅海・内水面グループ 内水面チーム 又は 日田市 農業振興課 内水面・畜産振興係	0978-44-0329 0973-22-8211	2017/9/1